

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学A	2	1年1～9組

使用教科書	副教材
数学A, 数学I (数研出版)	サクシード 数学I+A (数研出版) はぎ取り式 練習ドリル 数学I, A (数研出版)

1. 学習の目標

集合と論理、場合の数や確率及び図形の性質について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識出来るようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して、場合の数と確率、論理と集合及び図形の性質における考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらの事象の考察に活用しようとする。	数学的な活動を通して、場合の数と確率、論理と集合及び図形の性質における数学的な考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ論理的に考えると共に思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	場合の数と確率、論理と集合及び図形の性質において、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決する。	場合の数と確率、論理と集合及び図形の性質における基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを理解し、基本的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1		<b>【数学A】</b> 準備 集合	集合とその表し方, 部分集合, 共通部分と和集合, 補集合	定期試験の成績 授業態度 提出物等
	4	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1. 集合の要素の個数	和集合の要素の個数, 補集合の要素の個数	
	5	<b>【数学I】</b> 2章 集合と命題 2. 命題と条件 3. 命題と証明	命題, 条件と集合条件の否定, 必要条件と十分条件 逆・裏・対偶, 背理法	
	6	<b>【数学A】</b> 2. 場合の数 3. 順列	樹形図, 和の法則, 積の法則 順列, 順列の計算	
	7	4. 円順列・重複順列	円順列, 重複順列	
	9	5. 組合せ 2節 確率 6. 事象と確率 7. 確率の基本性質	組合せ, 組合せの計算, 組分け, 同じものを含む順列 確率の意味, 試行と事象, 事象の確率, 積事象と和事象, 排反事象, 確率の基本性質, 和事象の確率, 余事象の確率	
2	10	8. 独立な試行の確率 9. 反復試行の確率 10. 条件付きの確率	独立な試行, 独立な試行の確率, 3つ以上の独立な試行 反復試行の確率, 反復試行の確率の応用 条件付き確率, 確率の乗法定理, やや複雑な事象の確率	
		3章 図形の性質 1節 平面図形 1. 三角の辺の比 2. 三角形の外心, 内心, 重心 3. チェバの定理, メネラウスの定理	線分の内分・外分 外心, 内心, 重心, 正三角形の重心, 外心, 内心 正三角形の外心, 内心, 重心 チェバの定理, メネラウスの定理	
	11	4. 円に内接する 四角形 5. 円と直線	円周角の定理, 円に内接する四角形の性質, 四角形が円に内接 するための条件 円の接線, 接線と弦の作る角	

3	12	6. 方べきの定理 7. 2つの円の位置関係 8. 作図	方べきの定理, 方べきの定理の逆 2つの円の位置関係, 共通接線  平行な直線の作図, 線分の内分点・外分点の作図, いろいろな長さの線分の作図	定期試験 授業態度 提出物等
	1	2節 空間図形 9. 直線と平面 10. 多面体	2直線の位置関係, 直線と平面の位置関係, 2平面の位置関係 多面体, 正多面体の体積	
	2	【数学I】 5章 データの分析 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位範囲 4. 分散と標準偏差 5. データの相関	データ, 度数分布表, ヒストグラム 平均値, 中央値, 最頻値 範囲, 四分位数, 四分位範囲・四分位偏差, 箱ひげ図, ヒストグラムと箱ひげ図 分散・標準偏差 散布図, 正の相関・負の相関, 相関係数	定期試験 授業態度 提出物等

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。